

高知における地盤情報の活用事例

株式会社相愛 正会員 中村和弘

1. まえがき

高知地盤図は、表-1に示すように、1984年高知地盤図編集委員会の立ち上げから8年後の1992年に発行された。同編集委員会は(社)高知県建築設計管理協会会长を委員長とし、高知県2名、高知市1名、高校教諭1名、地質調査業1名、建築関係3名の合計9名で構成されたが、第四紀研究者である西和彦先生(当時高知市立高知商業高等学校教頭)によってB4版461ページの「高知地盤図」が出来上がったといつても過言ではないであろう。

高知地盤図は民間30社(建築・土木設計事務所, 基礎工事会社, 建設会社, 地質調査会社, 不動産業)及び大学, 工業高校, 県立・市立図書館等に提供され各方面で活用されている。

表-1 中・四国で発行された地盤図

中国	広島県西部地盤図	1988	日本建築学会中国支部	日本建築学会中国支部
	広島県東部地盤図	1987		
	岡山県地盤図	1995	中国地方基礎地盤研究会	同左
	広島県地盤図	1997		同左
	岡山県臨海地帯地盤図	1984	米子工業高等専門学校地域防災研究班	同左
	山陰臨海平野地盤図	1995	中国地方岸地盤研究会	同左
	中海臨海地帯の地盤	1967	建設省、鳥取県、島根県	大蔵省印刷局 理研産業
	吳地区地盤図	1972	日本建築学会中国支部基礎地盤委員会	
	鳥取県地盤図	1985	米子工業高等専門学校地域防災研究班	同左
	鳥取県地盤図	1981	日本建築学会中国支部基礎地盤委員会	同左
	山口県の地質	1975	山口県立山口博物館	大村印刷㈱
	山口県地盤図	1989	日本建築学会中国支部	同左
四国	徳島臨海地帯の地盤	1964	建設省、徳島県	大蔵省印刷局
	愛媛県東伊予地区的地盤	1965	建設省、愛媛県	
	高知地盤図	1992	高知地盤編集委員会	高知県建築設計監理協会
	四国臨海平野地盤図	1994	中国地方基礎地盤研究会	同左

2. 高知地盤図の内容

- (1) 高知平野第四系層序区分(第2表)
 - (2) 高知平野の沖積層基底面図(第1図)
 - (3) 高知平野の基盤岩上面深度図(第2図)
 - (4) 高知平野のボーリング地点及び断面線位置図(第3図)
 - (5) 高知平野の地層断面図(13断面)
 - (6) ボーリング柱状図(安芸市, 南国市その周辺, 高知市, 土佐市, 春野町, 伊野町, 須崎市, 中村市, 土佐清水市, 宿毛市)

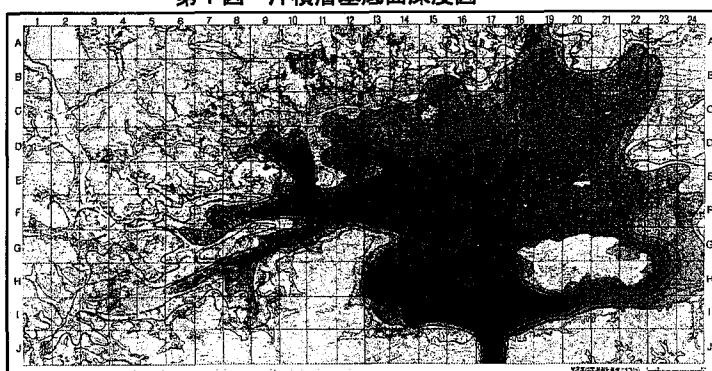
3. 高知地盤図の活用事例

高知地盤図は、概略の地質構成、支持層の深さ分布等が分かる為、調査深度、サンプリング位置等の計画に日常的に良く利用されている。

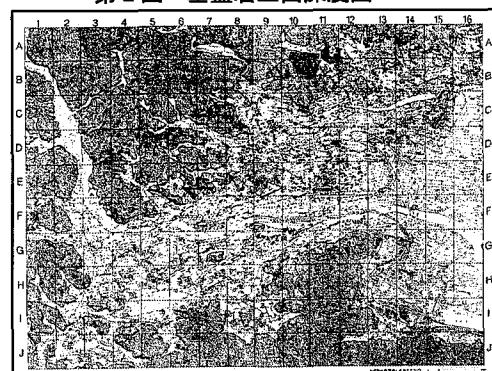
最近は南海地震の来襲確率が高くなっていることから、液状化危険度マップや木造住宅耐震診断に必要な地盤分類図作成に利用されている。勿論高知地盤図に集録されているボーリングデータに新たに収集したボーリングデータを加えることはいうまでもない。

表-2 第四系の層序区分

第1図 沖積層基底面深度図



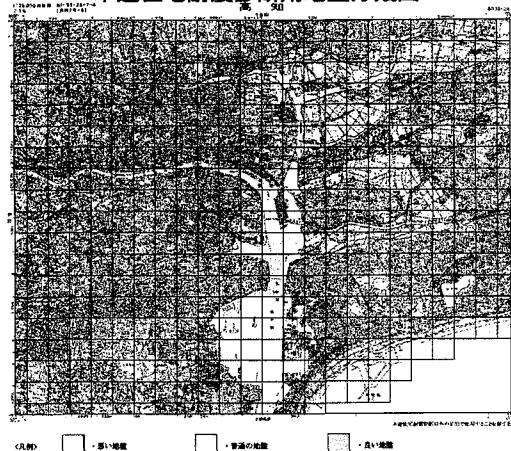
第2図 基盤岩上面深度図



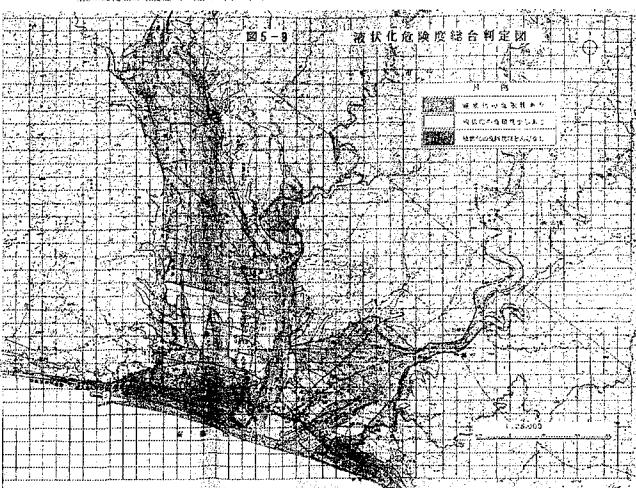
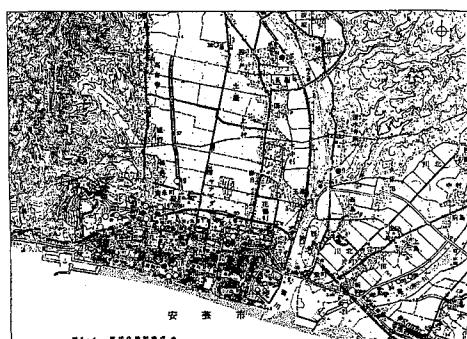
第3図 高知平野のボーリング地点・断面位置図



木造住宅耐震診断用地盤分類図



安芸市液状化危険度マップ



四十市液状化危険度マップ

